



感染性胃腸炎の報告が急増しています！



感染性胃腸炎とは

ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルス、細菌により胃腸炎症状（嘔吐、下痢、腹痛など）を起こす感染症で、気温が低く、乾燥する冬に流行します。

症状がある場合

しっかり休養し、少しずつこまめに水分補給してください。

登園の目安は「嘔吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること」です。



どうやって感染するの？

ウイルスに汚染されたものを食べる（経口感染）、タオルなど共有すること（接触感染）、嘔吐物の飛沫を吸い込むこと（飛沫感染）で感染します。また、嘔吐物や糞便が乾燥し空中に舞ったウイルスを吸い込むこと（空気感染）でも感染します。

どのくらい多いの？



豊中市では11月下旬から保育施設での下痢、嘔吐の報告が増加しています。

感染性胃腸炎の発生状況も、令和2年度より増加しています。

感染を防ぐには？

●手洗いが重要！

調理前、食事前、トイレ後、下痢・嘔吐物の処理後などに、流水＋石けん(ハンドソープ)で15秒以上洗いましょう。

アルコールでの手指消毒は感染性胃腸炎には効果がありません。



●嘔吐物の適切な処理

処理時は感染の危険性が高くなります！

マスク、使い捨て手袋、ガウンを付けて行いましょう。

嘔吐物は素早くペーパータオルなどでぬぐい取り、嘔吐物から広い範囲(2m程度)を消毒しましょう。消毒液には次亜塩素酸ナトリウム(ハイター、ブリーチ等)が効果的です。

●排便処理

症状がおさまっても1か月程度は便からウイルスが排出されます。

おむつは密封して処分し、トイレ使用後や介助後はしっかり手洗いしましょう。

